

(様式 2)

議事録番号

提出 2011 年 1 月 14 日

## 会合議事録

研究会名：第 6 回原子分解能 X 線励起ホログラフィー研究会

日 時：2011 年 1 月 9 日(日) 18:00-19:00

場 所：つくば国際会議場 中会議室 202 (C 会場) (放射光学会会場)

出席者：林好一 (代表、東北大)、松下智裕 (副代表、JASRI)、大門寛 (奈良先端大)、細川伸也 (広島工大)、松井文彦 (奈良先端大)、八方直久 (広島市大)、上坂彰朗 (堀場)、加藤有香子 (産総研)、岡田京子 (JASRI)、松田博之 (奈良先端大)、松井公佑 (奈良先端大)、前島尚行 (奈良先端大)、松田巖 (東大)

計 13 名

議題： 進展状況などの報告、及び来年度の研究会の活動方針の策定

議事内容：

1. 今後の原子分解能ホログラフィー研究会の活動について (林)

研究会は物理学会シンポジウム(2010 春)や、ワークショップ(2010 秋)と活発に活動をしてきた。次は応用物理学会にてシンポジウムを企画したい。また、研究会として、大型予算に応募する方向で検討を行ないたい。

2. 光電子回折分光法で留意すべきの諸問題 (松井)

今後の研究会として活動の方向性の提示があった。情報発信(Web)、情報やマニュアル整備を行っていき、新しいユーザーを開拓していきたい。

○最新の研究状況などの情報交換

各研究者から、下記のテーマについて、最新の装置などの紹介、PF、SPring-8 の施設比較などの意見交換を行った。

3. 原子分解能ホログラフィーの解析の理論、この一年の進展 (松下)

4. 3 元系混晶の蛍光 X 線ホログラフィー、この 1 年のまとめ(八方)

5. DVD 薄膜単結晶の蛍光 X 線ホログラフィーによる研究(細川)

6. 逆 X 線光電子ホログラフィーによる Pt/MgO 薄膜の測定(上坂)

7. 光電子回折顕微鏡の進捗状況(大門)

以上